



新総合事業、4月からスタート **介護保険を** **安上がりサービスで 使わせないしくみ**

① ボランティア、NPOを活用するなど非専門職によるサービスの提供を可能にする。

② 人員や運営などの基準は国として決めず、大枠をしばるガイドラインを作成し、その範囲内で市町村は効率的な対応を可能とする。

③ 事業者を指定する場合、ホームヘルプ・デイサービスについては、現在の報酬以下の単価を市町村が独自に設定する。

浦安市長選挙への 日本共産党の対応について

2017年3月3日

日本共産党浦安市委員会

日本共産党は、千葉県知事選挙と同時に行われる浦安市長選挙について、1月に見解と決意「2017年 浦安市長選挙にあたって」を発表し、松崎市政に代わる新しい政治を実現させるべく、幅広い共同による候補擁立をめざして努力を重ねてきました。しかし、共同候補の擁立に至らず、「自主投票」とすることに決定しました。この間、市政刷新を願い日本共産党へ期待の声をお寄せくださったみなさんに、わが党の力不足をお詫びします。

日本共産党は、今後もみなさんと力を合わせ、清潔公正で、住民の暮らし・福祉の向上、地域経済振興を最優先の市政実現をめざして奮闘する決意です。

このたびの条例改正は、2014年6月に成立した「医療・介護総合法」にもとづき行われます。

同法によって特養ホームの入所を原則要介護3以上に限定、一定の所得のある人には利用料の2割負担など介護保険制度開始以来の大改悪がおこなわれました。新総合事業の導入もその一つです。

新総合事業は、

制度開始以来の 大改悪の

要支援1・2の人が受けるホームヘルプサービスとデイサービスは17年度以降は介護保険から外され、ボランティアなどを活用して市町村が責任を負う「新総合事業」と呼ばれる安上がりサービスに置き換えられることになっています。

浦安市議会第一回定例会には条例改正議案が上程されています。

「新総合事業」に移行しても現在のホームヘルプ・デイサービスを必要とするすべての要支援者が利用できる仕組みを、市の責任で作り上げることができるとは、市が今問われている（裏面）

必要とする人に 必要なサービスを

以上のような手法によって、介護保険を使わせないで安上がりサービスを推進するねらいがあります。

週刊

市議会報告

日本共産党

2017年3月6日

第1406号

【発行】

日本共産党
浦安市議団

☎ & FAX

350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14

☎ 355-8526

minamotonton@

jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄 2-3-16-203

☎ 354-9269

m5mise@jcom.

home.ne.jp

浦安市は、「緩和した基準によるホームヘルプサービス」はNPOやボランティアなどの担い手不足のため、新年度はシルバー人材センターによるゴミ出しや電球取り換えなどの生活支援(訪問型サービスB・利用者負担一時間1100円)のみを予定していること、また、「現行相当のホームヘルプサービス」は、従来の報酬単価を事業者に保障することによって実施する方針を示しました。

また、デイサービスについても「担ってくれる団体が今のところ、見当たらない」「現行のデイサービスにせざるをえない」などとして、「緩和した基準によるデイサービス」は導入しない方針が示されました。

さらに、「短期集中型」と呼ばれる理学療法士などによるリハビリ支援を3〜6か月の短期間で実施するデイサービス導入も明らかにしました。

児童扶養手当の毎月支給を



新年度予算を審議する教育民生常任委員会が先週2・3日開かれ、日本共産党は児童扶養手当について取り上げました。

支給までのやりくりが大変!

児童扶養手当はひとり親家庭の生活を経済的に安定させるための支援です。

児童扶養手当法に基づき、手当は毎年4月、8月、12月の3期に分けて支給され、浦安市では、709人(平成27年度決算)が受給し、決算額は約3億5600万円です。

手当を必要とする家庭にとっては「支給までのやりくりが大変」という切実な声があり、日本共産党は「毎月支給すべき、市民要望をどう受け止めているのか」と質しました。

すでに全国的にも「政府の対応を待っていない、いつまでたってもことは進まない」と自治体独自に手当を「毎月支給する」仕組み作りにもみきった自治体も生まれています。市は「現在、県がアンケート調査をしてい

介護職の賃金・待遇のさらなる悪化につながる危険性が!

しかし、当該事業には、国が「要支援者サービスの事業に上限を設けて給付費抑制を迫る」しくみがあるため、市は今後、サービス切り捨てに駆り立てられることとなります。介護問題は現在の高齢者だけの問題ではありません。年間10万人を超える人が家族の介護のために離職・転職を余儀なくされ、今や、現役世代も含めた国民的課題です。

安上がりサービスを推進することは、今でも劣悪な介護職の賃金、待遇のさらなる悪化を招くことになりかねません。

「と答えて、その結果を見て判断したいという消極的姿勢に止まりました。

千葉県知事選予定候補

すみや しんいち

角谷 信一さん



私には夢がある

- 受験競争と貧困で子どもたちが泣くことのない千葉県を
- ブラック企業で苦しむ人や過労死する人のない千葉県を
- 高齢者や障害者、病弱者が孤独死する不安のない千葉県を
- 夢を一緒に実現しませんか?

プロフィール
元千葉県立高等学校
社会科教諭
(若松高校・磯辺高校
・千葉工業高校
・横橋高校・国府台高校)

出身校
立命館大学一部文学部
大阪工業高等専門学校

千葉県千葉市在住

日本共産党浦安市議団は角谷信一さんを応援します!